

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活動実績
北海道	北海道大学	<p>○北海道からの要請に基づき、医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務職員2名で構成する救護チームを10班編成し、岩手県陸前高田市に派遣した。救護チームは同市の長部地区のコミュニティセンターに仮設診療所を設置し、被災者の診療に従事した。(3月20日～5月9日)</p> <p>【救護チーム派遣日程】 第1班(3月20日～3月26日)、第2班(3月24日～3月30日)、第3班(3月30日～4月4日)、第4班(4月4日～4月9日)、第5班(4月9日～4月14日)、第6班(4月14日～4月19日)、第7班(4月19日～4月24日)、第8班(4月24日～4月29日)、第9班(4月29日～5月4日)、第10班(5月4日～5月9日)</p> <p>【救護チーム延べ派遣人数】 医師20名、看護師20名、薬剤師10名、事務職員20名 計70名</p> <p>○警察庁及び宮城県警察本部からの要請に基づき、遺体の検案及び身元確認を行う災害時検案支援医師として、教員2名を派遣。(3月24日～3月31日、4月5日～4月12日)</p> <p>○警察庁からの要請に基づき、遺体の身元確認を行う歯科医師の派遣候補者のリストを提出し、装備等の準備をしたが、その後、派遣依頼はない。</p> <p>○東北大学歯学部あてに口腔ケア用品(入れ歯安定剤、歯磨き粉、歯ブラシ、紙コップ、ペーパータオル、除菌ウエットティッシュ、ティスパーザブルキャップ)等を提供。(3月18日)</p> <p>○弘前大学の薬品、医療材料、手術用品(針・糸等)、汎用品(採血管等)の調達を代行し、物資を発送。(3月22日)</p> <p>○岩手医科大学に医療材料等、支援物資を提供。(3月22日)</p> <p>○青森県保険医協会あてに義歯用の歯科材料を提供。(4月28日)</p> <p>○厚生労働省からの要請に基づき、被災地の歯科医療に従事する教職員2名を宮城県女川町周辺地域に派遣するとともに、現地で不足している口腔ケア用品(歯間ブラシ、キシリトール入りノンシュガーのど飴、歯科用タブレット、白衣)を送付。(5月22日～5月30日)</p> <p>○産婦人科学会の要請に基づき、産科医師1名を宮城県石巻市に派遣(5月21日～27日)</p> <p>○大槌町からの要請に基づき、多くの住民・職員の人命・職場・財産の多くが奪われ、気持ちのつらさが大変強くなっている住民及び町職員の心のサポートを行うため、喪失の悲嘆へのケアに優れた能力を持つ緩和ケア担当医2名を延べ37日間同町に派遣。(10月、2月)</p> <p>○全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会からの要請に基づき、内科医師1名を宮城県南三陸町公立志津川病院に派遣。(2月2日～7日)</p>
北海道	旭川医科大学	<p>○3月11～15日に旭川医科大学病院DMATチーム(医師2名、看護師2名、事務1名)を岩手県いわて花巻空港へ派遣した。(平成23年3月中旬実施)</p> <p>○死体検案支援として、3月16～22日に岩手県へ医師1名、4月11～18日に宮城県へ医師1名、6月21～29日に宮城県へ医師1名、6月22日～7月1日に岩手県へ医師1名を派遣した。(平成23年7月上旬まで実施)</p> <p>○3月22日～5月12日の間、宮城県気仙沼市へ医療救護班(班構成:医師2～3名、看護師2～3名、薬剤師1名、事務1名)を1週間程度の交代で、延べ69名派遣した。(平成23年5月中旬まで実施)</p> <p>○被災地医療支援として、10月17日～24日及び12月13日～20日に、宮城県の公立志津川病院へ医師を各1名派遣した。(継続中)</p>
東北	弘前大学	<p>○緊急医療チーム(DMAT)を派遣(第1次隊 3月11日～13日、第2次隊 3月14日～15日)</p> <p>○被災地の病院へ医師等を派遣(3月18日～19日、3月23日～25日、4月1日～3日、4月1日～4日、3月25日～29日、3月29日～4月1日、4月4日～7日、4月7日～10日、4月10日～13日、4月13日～16日、4月16日～19日、4月19日～22日、4月29日、4月29日～30日、5月27日～29日)</p> <p>○医薬品を被災地の病院へ提供(3月25日、3月29日、4月1日、4月4日、4月7日、4月10日、4月13日、4月16日、4月19日)</p> <p>○放射線測定のため被ばく状況調査チーム(教員、看護師、放射線技師、事務職員)を派遣(第1次隊～3次隊 3月15日～19日、第4次隊 3月20日～23日、第5次隊 3月24日～27日、第6次隊 3月28日～31日、第7次隊 4月11日～16日、第8次隊 4月25日～28日、第9次隊 5月9日～13日、第10次隊 5月16日～20日、第11次隊 5月23日～27日、第12次隊 5月30日～6月3日、第13次隊 6月6日～10日、第14次隊 6月13日～17日、第15次隊 6月20日～24日、第16次隊 6月27日～7月1日、第17次隊 7月4日～8日、第18次隊 7月11日～15日、第19次隊 7月18日～22日、第20次隊 7月25日～29日)</p> <p>URL:http://www.hirosaki-u.ac.jp/houdou/shinsai/O1.html</p> <p>○「一次立ち入りプロジェクト」へのチーム派遣(医師、看護師、放射線技師、事務職員)を派遣(第1次隊 5月25日～28日、第2次隊 天候不良による一次立ち入り中止による派遣取りやめ、第3次隊 6月3日～6日、第4次隊 6月6日～9日、第5次隊 6月17日～20日、第6次隊 6月24日～27日、第7次隊 6月27日～30日、第8次隊 7月5日～8日、第9次隊 7月13日～16日、第10次隊 7月21日～24日、第11次隊 7月23日～26日、第12次隊 7月29日～8月1日)</p> <p>○高度救命救急センターに被ばく患者の受入体制を整備</p> <p>○高度救命救急センターの医師を、原子力災害現地対策本部医療チームの統括として派遣(3月15日～19日、4月3日～7日、4月15日～18日、5月1日～3日、6月6日～6月8日、6月27日～7月2日、8月27日～9月1日)</p> <p>○東京電力福島第一原子力発電所における医療支援活動(10月30日～11月2日、12月10日～12月12日)</p> <p>○3月17日～23日 岩手被災地での死体検案業務応援</p> <p>○3月26日 八戸市湊避難所へ医療支援(医師3名)</p>

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
東北	岩手大学	<p>○保健師2名が、大槌町からの依頼を受け、4月29日～5月1日まで同町内全戸を対象とする健康調査に携わった。</p> <p>○獣医師が、岩手大学動物病院移動診療車「わんにゃんレスキュー号」で被災地を巡回し、ペットの治療を行った。</p> <p>4月1日～5月18日の間に5回派遣し、延べ131頭（犬100頭、猫30頭、その他1頭）を診療した。</p>
東北	東北大学	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、歯科医師、看護師等が避難所の訪問・診療等を実施 http://www.hosp.tohoku.ac.jp/ ・被災地への医師等派遣 県内（石巻、気仙沼、南三陸、県東部・南部市町村） 福島（磐城共立）、茨城（高萩共同）等 【医師】 1887名 【看護師】 54名 【薬剤師】 67名 【理学療法士等その他】 199名 合計 2207名（24.2.27現在） ・トリアージ活動（3.11～18） 震災直後より、仙台市周辺からの被災者の受診と入院、産科、在宅酸素療法患者を収容 ・県内病院等の支援 最前線病院の負担軽減策として、患者を無条件で受入れるとともに、震災により機能不全に陥った病院から患者を受入れ <ul style="list-style-type: none"> ・石巻・気仙沼等から 452名（3/11～4/10） ・厚生年金病院から 41名 ・気仙沼から透析患者 約80名 等 （透析患者は一旦入院加療後、北海道へ自衛隊機で搬送） ・医薬品、医療器材、食料等の調達並びに被災地病院等への搬送支援 文部科学省等を通じて全国の国立大学病院等に物資等の支援要請を行い、県内外に当院の医師や看護師を派遣する際に支援物資等を運搬。・歯科部門からの遺体確認作業と避難所への巡回診療（23.7.8終了） ・身元確認作業への協力：358名（183会場）（24.2.13現在） ・避難所への巡回診療：354名（196力所）（23.9.30終了） ・口腔ケア用品の提供（23.9.30終了） ・長期戦に備える医療体制の整備 長期滞在型のチーム編成とEIP・ラフを導入するため、宮城県及び被災地拠点病院と調整の上、国立大学附属病院長会議等を通じて全国の国立大学病院等へ医療チームの派遣を依頼。 ・専門家チームの巡回診療 避難所の衛生環境の悪化に伴う感染症の急増や特殊疾患等に対応するため、大学病院の専門性を活かし、感染管理室、眼科、耳鼻科、皮膚科等が避難所巡回診療を実施。 ・放射線被ばく疑い患者への診察と除染業務 <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県からの依頼検査（3.14～3.26終了） 検査数241244件 除染数8件 ・その他来院者検査（3.14～4.15終了） *終了後も希望者がいれば行っている 検査数255263件、除染数1件 合計 検査数496507件、除染数9件 ・宮城県地域医療復興検討会議への参画（具体的各種支援事業への協力） 地域医療の確保が危機的な状況にある被災地域（気仙沼、南三陸、石巻）を中心に、地域医療の復興のあり方、医療機能再開支援と医療従事者の確保方策など、全県的視野で今後の地域医療の復興の基本的な方針を検討。 ・心のケアチームによる巡回診療の実施 精神科等が医師会や関連学会と協力してチームを編成し巡回診療を継続中。 ・本院及び東北地区がんネットワークによる被災地「がん医療」の協力体制を支援 本院がんセンターと東北地区がんネットワークによる被災地医療機関における「がん医療」の現状分析及び協力体制について継続的に支援。 ・緊急時被ばくスクリーニングに係る放射線技師の派遣 住民一時帰宅に伴うスクリーニング受検者増加対応のため、病院放射線技師を福島県内のスクリーニング会場へ派遣（23.9.1現在23.8.11終了：延23名派遣） ・薬剤師免許を有する教員及び大学院生が石巻赤十字病院で調剤業務を支援。 （23.4.1まで実施） ・宮城県薬剤師協会に協力し、石巻高校内臨時診療所での調剤業務支援、エリア内避難所の巡回と被災者へのセルフメディケーション支援・道路状況の調査・衛生管理と指導、石巻高校避難所内薬剤師会本部での一般用薬品の整理・活動記録の電子化等を実施。（3月30日から4月22日までのべ73人）（23.4.22まで実施）

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
東北	秋田大学	<ul style="list-style-type: none"> ○医薬品、医療材料等を被災地に提供。（3月17, 21, 24日） ○「緊急医療チーム（DMAT）」を派遣。（3月11～13日, 14～16日） ○「こころのケアチーム」を派遣。（4月10～13日, 17～20日, 5月14～17日, 6月5～8日, 9～12日） ○「災害時検案支援医師および歯科医師」を派遣。 （3月18～24日, 18～26日, 4月5～12日, 13～19日, 25日～5月2日, 19～25日, 25～31日, 31日～6月6日） ○「医療支援チーム（医師、看護師、事務職員）」を派遣。 （3月17～21日, 21～24日, 24～27日, 27～30日, 30日～4月2日, 4月2～5日, 5～8日, 8～11日, 11～14日, 14～17日, 17～20日, 20～23日, 23～26日, 26～29日, 29日～5月2日, 2～5日, 5～8日, 9～13日, 16～20日, 23～27日, 30日～6月3日, 6～10日, 13～17日, 20～24日, 27日～7月1日, 4～8日, 11～15日） ○「リレー方式による医療支援活動」へ医師を派遣。（10月2～9日, 11月7～22日）
東北	山形大学	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急医療チーム（DMAT）を派遣（3月11日～3月13日：宮城県） ○医療救護班を派遣（4月21日～4月25日：岩手県宮古市） ○県からの依頼により避難所（県体育館）での巡回診療支援 ○気仙沼市からの要請によりリハビリ職員を二週調査のために派遣（4月～7月までに7回実施） ○県からの要請により医療救護班を派遣（宮城県気仙沼市：5月30日～31日）
東北	福島大学	<ul style="list-style-type: none"> ○3月16日、本学に設置された避難所の避難住民に対し、保健管理センターの医師、看護師、学生総合相談室の臨床心理士が、一日二回巡回活動を実施。医療相談、血圧測定、投薬、院外処方箋発行などの医療活動と共に、避難生活での不安や心配、不満などに耳を傾け心のケアを実施。（4月末まで実施） ○文部科学省対策チーム医療班からの要請により、被爆医療派遣者の宿泊・休憩施設の開設（附属特別支援学校内）し、述べ41名を受入れ。（3月21日～4月3日）
関東・甲信越	筑波大学	<ul style="list-style-type: none"> ○筑波大学附属病院DMAT（災害派遣医療チーム）を北茨城市に派遣し、診療等を実施 ○ボランティア医師、看護師等が避難所（つくば市洞峰公園）を訪問し、診療等を実施 ○精神科医、臨床心理士、薬剤師による「こころのケアチーム」を組織し、被災地（福島県）で診療等を実施 ○大学院生1名：日本看護協会に登録し、宮城県石巻市で看護活動を実施 ○大学院生2名：アルバイト先の病院から指名され、つくば市内の避難所にて看護師として健康相談等の実施 ○附属病院が、全国各地から提供された医療材料及び支援物資のハブ拠点となり、県北医療機関及び宮城県等の被災地へ提供 ○国立大学附属病院長会議常置委員長からの「岩手県への医療支援実施要請」に基づき、医師派遣計画を策定 ○緊急時被ばくスクリーニングに係る対応者を派遣 ○被災者健康支援連絡協議会の下、全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会からの要請に基づき、平成23年9月から、平成24年2月までに10名を派遣し、3月にも1名を派遣予定。 ○筑波大学東日本大震災復興支援プログラム「被災地における心の復興：とくに児童生徒を対象に」により、北茨城市大津町市立城北中学校を精神科医師及び学生が9月及び12月に訪問し、心のケアを実施 ○福島県における小児甲状腺超音波検査の支援（11月に医師を4日派遣、3月にも実施予定） ○本院医師が福島県「県民健康管理調査」における甲状腺検査専門委員として支援 ○医師1名：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会からの依頼による、石巻及び気仙沼被災地への医療支援（活動期間：H24.3.1～H24.3.31までの1ヶ月間）
関東・甲信越	群馬大学	別紙1のとおり

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
東京	東京大学	<p>○被災地への医療支援（附属病院）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地からの患者受入（平成23年4月13日現在で計16名受入） ・医療支援チームの派遣（平成24年2月10日現在で計161名派遣） <p>http://www.h.u-tokyo.ac.jp/topics/20110329.html</p> <p>○放射線測定活動（理学系研究科）</p> <p>福島県にて放射線の測定 （平成23年3月21日～25日、27日～29日、4月2日～5日。計測対象者6,000人）</p> <p>http://www.u-tokyo.ac.jp/public/AntiDisaster/info_20110415_04_j.html</p> <p>○自治体の要請に応じた、教員、研究者等のボランティアによる放射線測定活動の展開（平成23年11月末まで）</p>
東京	東京医科歯科大学	<p>○災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 （3月11日～14日、3月16日～19日、3月20日～22日 5月25日～31日）</p> <p>○医薬品を被災地へ提供（3月12日）</p> <p>○死体検案のため、福島県相馬市・南相馬市及び宮城県石巻市等へ医師を派遣 （3月16日～22日、3月29日～4月5日、4月20日～27日）</p> <p>○下肢深部静脈血栓症の治療・予防のため、福島県内避難所へ医師を派遣 （3月14日～15日、3月17日～18日）</p> <p>○高齢者医療支援に関する情報収集・診療のため、福島県福島市及び相馬市へ医師及び薬剤師を派遣（3月26日～27日）</p> <p>○緊急被災者医療に対する災害医療アドバイザーとして、原子力災害現地対策本部へ医師を派遣（4月11日～13日）</p> <p>○日本プライマリ・ケア連合学会東日本大震災支援プロジェクト現地派遣支援として、宮城県涌谷町、石巻市へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣（4月14日～17日）</p> <p>○被災地から、重症患者を受入れ（3月18日に、福島県郡山市太田西ノ内病院、宮城県亘理郡国立病院機構宮城病院、福島県いわき市いわき共立病院から、また、福島県いわき市から都内に避難中の患者を、それぞれ受入れ。福島県いわき市内の透析患者を、3月18日及び19日から受入れ。）</p> <p>○被災地への医療支援のため、東京大学千葉大学、山梨大学及び群馬大学チームとリレー方式により医師等を派遣 （5月7日～11日、5月18日～21日、5月28日～6月1日）</p> <p>○日本看護協会を通じて、宮城県石巻市内における災害支援看護師の統括者（コーディネーター）として看護師（本学教員）を派遣（3月31日～4月14日）</p> <p>○Primary care for All Team（PCAT）の一員として、宮城県石巻市に保健師（本学教員）を派遣（4月15日～4月19日）</p> <p>○被災地からの避難住民に対する医療支援のため、新潟県見附市へ医師を派遣 （4月1日、8日～9日、22日～23日、26日、30日、5月13日～14日、27日～28日、6月10日～11日、24日～29日、7月8日～9日、22日～23日、8月12日～13日、26日～27日、9月9日～10日、23日～24日、10月14日～15日、28日～29日、11月25日～26日、12月9日～10日、23日～24日、1月13日～14日、27日～28日、2月10日～11日）</p> <p>○東北大学心のケアチームとして、医師及び精神保健福祉士を宮城県石巻市へ派遣 （4月27日～30日）</p> <p>○福島県立医科大学心のケアチームとして、医師を福島県相馬市へ派遣 （4月30日～5月3日）</p> <p>○歯科治療及び口腔ケアのため、歯科医師及び歯科衛生士を宮城県へ派遣 （5月29日～6月6日、6月19日～6月27日）</p> <p>○福島県いわき市立総合磐城共立病院救命救急センターにおける診療指導 （12月12日～25日）</p>
東京	東京工業大学	<p>○文部科学省からの求めに応じ、本学教員が福島県での放射線スクリーニングの活動に参加。（4月2～6日）</p>
東京	お茶の水女子大学	<p>○震災学生の心と身体について相談を受けている。</p>

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
関東・甲信越	新潟大学	<ul style="list-style-type: none"> ○災害派遣医療チーム(DMAT隊)を派遣(福島県:3/11~3/17, 新潟消防学校:3/18~3/20) ○医療救護班/救援隊を派遣(岩手県宮古市:3/25~5/1, 宮城県石巻市:5/16~18) ○検死・検案チームを派遣(岩手県:3/15~3/22, 5/6~5/14), (宮城県:3/24~3/31), (福島県:4/3~4/10, 4/14~4/21, 4/29~5/3, 5/14~21) ○避難所におけるエコノミークラス症候群の指導(宮城県:3/19~3/20, 3/24~3/25, 3/26~3/27, 5/3, 5/4, 6/18), (宮城及び岩手県:4/10~4/12), (岩手県:4/28~5/1, 5/26~5/29) (群馬県:5/8), (福島及び宮城県:5/20), (新潟県内:4/8, 4/9, 4/16~4/17, 4/24~4/25, 5/5, 5/19) ○他病院の応援(石巻赤十字病院:5/7~5/13) ○看護師を派遣(宮城県:4/4~4/7, 岩手県:4/4~4/11~4/14) ○被災地患者を新潟県内各病院に移送するためのトリアージを264人に実施(新潟県内:3/17~3/19), 入院患者25人, 外来患者20人を受入 ○新潟県内避難所における歯科衛生士による歯科相談支援を実施(新潟県内:3/27, 4/9) ○酸素ボンベ圧力調整器10個を提供(3/13) ○東北大学病院へ医薬品を提供(3/16) ○秋田大学医学部附属病院へ医薬品を提供(3/19) ○医薬品, 医療材料の受入(富山大学, 福井大学)
関東・甲信越	山梨大学	<ul style="list-style-type: none"> ○医療救護班(医師、看護師、技師、事務)を派遣。(3月18日~5月13日延べ19班) ○関東甲信越地区リレー方式医療救護班(医師、看護師、技師、事務)を派遣。(6月1日~6月4日) ○全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会の要請に基づく医師派遣。(12月24日小児科, 12月12日~12月16日麻酔科) <p>http://www.hosp.yamanashi.ac.jp/news/news/index.html</p>
関東・甲信越	信州大学	<p>URL:http://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/disaster/index.php</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緊急医療チーム(DMAT)2隊を派遣(3月11日~17日) ○放射線測定員チーム(医師1名, 放射線技師1名, 看護師1名, 事務職員1名)を派遣(3月15日~18日) ○長野県との合同による医療救護班(医師1~2名, 看護師2名, 薬剤師1名, 事務1名)を派遣(3月18日~5月12日までに13班・延べ73名を派遣) ○心のケアチーム(医師2名, 事務1名)を派遣(4月9日~9月2日までに5班・延べ15名を派遣) ○被災地医療支援システムによる医師の派遣(医師1名)を派遣 ○被災地の妊産婦, 婦人科疾患を有する患者の受入体制の整備 ○被災地の放射線測定者(7名)
東海・北陸	富山大学	<ul style="list-style-type: none"> ○DMATチームを2チーム派遣(3月11日~14日, 15日) ○東北大学へ分娩セット等50箱支援(3月21日) ○富山県を通じて非常食料67箱支援(3月21日) ○東北大学等との連携により宮城県気仙沼市へ医療チームを派遣(3月28日~4月30日) ○国立大学附属病院長会議の依頼により宮城県石巻地区へ医療チームを派遣(5月6日~7月20日) ○全国医学部長病院長会議の依頼により茨城県北茨城市へ医師を派遣(2月17日~3月2日)他
東海・北陸	金沢大学	<ul style="list-style-type: none"> ・山形大学病院へ救援物資送付(3月20日送付/3月21日到着) 物品リスト【滅菌ガウン, マスク, 滅菌ガーゼ, 綿棒, 三方活栓, 輸液セット, シリンジ等】 (物品は業者から寄付) ・DMAT派遣 第1陣(3月11日~3月14日/仙台医療センター) ・DMAT派遣 第2陣(3月15日~3月19日/仙台医療センター) ・放射線測定者派遣(3月16日~3月19日/福島県で活動) ・医療救護(3月19日~3月25日/石巻市雄勝地区で活動) ・医療救護(3月31日~4月4日/石巻市雄勝地区で活動) ・医療救護(4月11日~4月14日/石巻市雄勝地区で活動) ・医療救護(4月21日~4月24日/石巻市雄勝地区で活動) ・医療救護(5月19日~5月23日/石巻市河北地区で活動) ・医療救護(6月9日~6月13日/石巻市渡波地区で活動) ・医師派遣 第1陣(3月18日~3月26日/筑波大学へ) ・医師派遣 第2陣(3月21日~3月25日/筑波大学へ) ・石川県こころのケアチーム(石川県神経科精神科医会が中心となって設立) 第9班の代表として金沢大学附属病院医師を派遣(4月25日~5月1日/石巻市で活動) 第19班スタッフとして金沢大学附属病院看護師を派遣(6月14日~6月20日/石巻市で活動) ・全国医学部長病院長会議の要請により医師を派遣予定(9月16日~9月30日/釜石市で活動) ・被災くスクリーニングに関し放射線技師を派遣(6月3日~6月7日, 6月7日~6月10日, 6月17日~6月20日, 6月24日~6月27日)

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
東海・北陸	福井大学	<ul style="list-style-type: none"> ○循環器、呼吸器検診等の救助活動のため医師を宮城県に派遣（3/23～3/25） ○緊急医療チーム(DMAT)を宮城県に派遣(3月11日～13日) ○附属病院の被ばく医療の専門家を福島県に派遣 （3月12日）（3月13日～17日）（4月24日～27日）（4月27日～5月1日）（5月4日～8日）（5月22日～25日）（6月16日～19日）（6月24日～28日）（7月11日～13日）（7月12日～14日）（7月16日～19日）（7月25日～28日）（7月27日～29日）（7月28日～30日）（8月12日～15日）（8月14日～16日）（8月15日～18日）（8月18日～21日）（9月10日～12日）（10月6日～8日）（10月17日～19日）（10月21日～23日）（10月30日～11月2日）（11月4日～6日）（11月22日～24日）（12月1日～3日）（12月5日～6日）（12月20日～22日）（12月23日～25日）（1月4日～6日）（1月15日～17日）（1月27日～29日）（2月4日～6日） ○附属病院近畿ブロック医療支援チーム（4大学）を宮城県に派遣 （6月7日～12日）（6月24日～27日）（7月9日～14日） ○日本産科婦人科学会の要請により、附属病院の産科医師を宮城県に派遣 （8月19日～27日） ○岩手医科大学附属病院災害対策本部合同巡回チームへの医師派遣（5月27日～29日） ○放射線測定チームを福島県に派遣（附属病院の医師、放射線技師、事務 3月21日～24日） ○附属病院の救護班（医師、看護師、薬剤師、事務）を宮城県に派遣 （3月18日～21日）（3月26日～29日）（4月7日～10日）（4月19日～22日）（4月29日～5月2日）（5月9日～12日） ○附属病院の心のケアチーム（医師、看護師）を派遣 （3月24日～28日：宮城県）（4月27日～5月1日：福島県）（5月25日～29日：福島県） ○看護学科教員を救援活動に派遣 （3月12日～17日：福島県、宮城県）（3月22日～30日：宮城県等）（4月8日～10日：岩手県）（4月29日～5月4日：岩手県）（5月18日～20日：岩手県）（6月3日～5日：岩手県）（6月24日～27日：福島県、岩手県）（8月25日～28日：岩手県）（8月29日～30日：岩手県）（11月2日：福島県）（12月16日～18日：岩手県） ○スクリーニング活動のため教員、技術職員を福島県に派遣 （4月28日～5月4日）（4月29日～5月4日）（5月3日～8日）（5月21日～23日）（5月24日～27日）（6月3日～5日）（6月5日～10日）（6月10日～13日）（6月20日～23日）（7月23日～27日）（7月29日～8月1日）（8月5日～9日）（8月25日～27日） ○警視庁、岩手県警からの依頼により、検案医師を宮城県に派遣（3月17日～25日） ○医療材料（産婦人科手術キット等）を東北大学に提供(3月18日) ○医薬品（透析用医薬品等）を被災地からの患者を受け入れている新潟大学に提供（3月22日） ○附属病院中部ブロック医療支援医師長期派遣 （11月11日～25日：岩手県）（2月3日～17日：茨城県） ○東日本大震災エコノミー症候群（被災者血栓症）予防検診支援会の要請により、附属病院医師、検査技師を岩手県に派遣（9月2日～4日） ○公益社団法人日本医療社会福祉協会の要請により、附属病院メディカルソーシャルワーカーを宮城県に派遣（2月5日～10日） ○盛岡市立病院長の要請により、エコー検査専門医師を派遣（9月2日～4日）
東海・北陸	岐阜大学	<ul style="list-style-type: none"> ○災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣（3月12日～14日 10人・日） ○日本小児アレルギー学会がアレルギー対策食を被災地に配給支援 ○筑波大学附属病院へ医療物資を搬送 ○心のケアチームとして、医師、看護師、精神健康福祉士、臨床心理士を派遣（3月19日～5月28日の間、9チーム 172人・日） ○災害ナースを派遣（3月25日～29日 10人・日）、 ○放射線サーベイヤーとして、放射線技師を派遣（3月26日～31日 6人・日）、 ○放射線スクリーニング要員として、放射線技師を派遣（5月21日～23日 3人・日）、 ○スクリーニング支援（3月：教員1名、5月：教員2名技術職員1名、6月技術職員1名、7月教員2名技術職員2名） ○国立大学附属病院長会議常任委員会東海北陸ブロック医療チームとして、医師、看護師、薬剤師、事務職員を派遣（5月10日～7月16日の間、5チーム 149人・日） ○全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会中部地区附属病院被災地医療支援として、医師を釜石病院へ派遣（10月14日～28日15人・日、2月4日～17日15人・日） ○被災地（岩手県）における地域医療研修（被災地派遣プログラム運用モデル事業）として、医師を磐井病院へ派遣（11月28日～12月22日25人・日）
東海・北陸	浜松医科大学	<ul style="list-style-type: none"> ○福島県住民の放射線被ばく線量の測定に放射線技師等5名うい派遣（3月16日～20日） ○宮城県、岩手県の被災地に医療支援のため医師、看護師等23名を派遣（3月18日～4月27日） ○被災地への医薬品提供（3月18日～30日） ○宮城県の被災地に医療支援のため医師、看護師等12名を派遣（5月23日～6月29日） ○福島県の病院支援のため、医師5名を派遣（6月3日～7月22日） ○岩手県の病院支援のため、医師1名を派遣（1月20日～2月3日）

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
東海・北陸	名古屋大学	放射線測定チーム（福島県） 第1陣（2名：放射線技師1名、事務1名）の派遣（3月16日～20日） 第2陣（3名：医師1名、放射線技師1名、助手1名）の派遣（5月24日～28日） 医療支援チーム （石巻地区：本院単独での派遣（石巻赤十字病院）） 第1陣（8名：医師4名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（3月18日～23日） 第2陣（8名：医師4名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（3月25日～30日） 第3陣（7名：医師3名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（3月31日～4月5日） （志津川地区：大病院及び千葉大病院との連携による派遣） 第4陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（4月5日～4月10日） 第5陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（4月15日～4月20日） 第6陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（4月26日～5月1日） （石巻地区：中部地区国立4大学病院及び藤田保健衛生大学病院の連携による派遣） 第7陣（7名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（5月6日～5月11日） 第8陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（5月17日～5月21日） 第9陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（5月27日～6月1日） 第10陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（6月7日～6月11日） 第11陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（6月17日～6月22日） 第12陣（6名：医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名）の派遣（6月28日～7月2日） 第13陣（5名：医師2名、看護師2名、事務1名）の派遣（7月8日～7月13日） 第14陣（4名：事務4名）の派遣（7月19日～7月21日） （東松島地区：こころのケア医療支援チームの派遣（東大病院、千葉大病院との連携）） 第15陣（3名：医師2名、事務1名）の派遣（5月18日～5月21日） 第16陣（1名：医師1名）の派遣（5月25日～5月28日） 第17陣（1名：医師1名）の派遣（6月8日～6月11日） 第18陣（1名：医師1名）の派遣（6月15日～6月18日） 第19陣（1名：医師1名）の派遣（6月29日～7月1日） 第20陣（1名：医師1名）の派遣（7月20日～7月23日） 第21陣（1名：医師1名）の派遣（8月3日～8月5日） 第22陣（1名：医師1名）の派遣（8月3日～8月6日） 第23陣（1名：医師1名）の派遣（10月31日～11月1日） 第24陣（1名：医師1名）の派遣（11月13日～11月14日）南相馬市 第25陣（1名：医師1名）の派遣（12月25日～12月26日）いわき市 （石巻地区：産科婦人科医療支援チームの派遣） 第26陣（2名：医師2名）の派遣（6月11日～6月18日） （岩手県釜石地区：中部地区国公立大学11病院による長期医療支援） 第27陣（1名：医師1名）の派遣（9月2日～9月16日） 第28陣（1名：医師1名）の派遣（12月9日～12月23日） （北茨城市地区：中部地区国公立大学11病院による長期医療支援） 第29陣（1名：医師1名）の派遣（1月9日～1月20日） （岩手県釜石地区：東海北陸厚生局による被災地研修プログラム運用モデル事業） 第30陣（1名：医師1名）の派遣（11月7日～12月4日） 第31陣（1名：医師1名）の派遣（12月5日～1月3日） 第32陣（1名：医師1名）の派遣（1月4日～1月29日） 第33陣（1名：医師1名）の派遣（1月30日～2月26日）
東海・北陸	名古屋工業大学	○相馬市中心のケア支援（粥川教授）（4月29日～5月1日） 現地視察
東海・北陸	三重大学	○緊急医療チーム（DMAT）を派遣（3月11日～13日） ○三重県の医療救護班として三重大病院医療救護班を派遣（3月17日～6月1日） http://www.hosp.mie-u.ac.jp/oshirase/20110325.html ○放射線被曝のスクリーニングを行うための放射線技師・放射線取扱主任者を派遣（6月30日～） ○国立大学間の連携による被災地域への「リレー方式」による医療支援に医師、看護師、薬剤師、事務職員の三重大病院チームを派遣（5月13日～7月20日）
東海・北陸	北陸先端科学技術大学院大学	家庭用薬品を福島大学へ送付（3月22日）。【緊急物資支援の項目に再掲】

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活動実績
近畿	滋賀大学	○東日本大震災で被災し、滋賀県及び近隣府県に避難されている方々に、保健管理センターの精神科医師が無料の相談を実施 http://www.shiga-u.ac.jp/main.cgi?c=35:2
近畿	滋賀医科大学	①災害派遣医療チーム（DMAT）を花巻空港に派遣（3.12～3.15） ②医療救護「心のケアチーム」を福島県精神保健福祉センターに派遣（4.6～4.10） ③医療支援「保健師チーム」を郡山市 他に派遣（4.6～4.11） ④医療救護チーム（内科）を会津保健福祉事務所に派遣（4.10～4.14） ⑤医療支援「保健師チーム」を郡山市 他に派遣（4.14～4.19） ⑥医療救護チーム（内科）を会津保健福祉事務所に派遣（4.17～4.21） ⑦医療救護チーム（内科）を会津保健福祉事務所に派遣（4.20～4.24） ⑧医療支援「健康支援チーム」を福島県田村郡に派遣（4.25～5.4） ⑨医療救護チーム（整形外科）を会津保健福祉事務所に派遣（5.9～5.13） ⑩医療支援「健康支援チーム」を宮城県気仙沼市へ派遣（5.15～5.18） ⑪医療救護「心のケアチーム」を福島県精神保健福祉センターに派遣（5.18～5.22） ⑫医療救護チーム（内科・小児科）を宮城県石巻市に派遣（6.3～6.8） ⑬サーバランスチーム（放射線量測定）を福島県福島市に派遣（6.5～6.9） ⑭医療救護チーム（内科）を宮城県石巻市に派遣（6.19～6.24） ⑮医療救護チーム（内科）を宮城県石巻市に派遣（7.5～7.10） ⑯サーバランスチーム（放射線量測定）を福島県福島市に派遣（7.13～7.17） ⑰サーバランスチーム（放射線量測定）を福島県福島市に派遣（8.7～8.11） ⑱医療支援医師2名（神経内科、消化器外科）を岩手県立宮古病院に派遣（11.27～12.3） ⑲医療支援医師2名（消化器内科、泌尿器科）を岩手県立宮古病院に派遣（12.4～12.10）
近畿	京都大学	・緊急医療チーム（DMAT）5名を派遣（3月11日～15日） URL:http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/news_data/h/h1/news7/2010/110315_1.htm ・京都市消防局からの依頼により、被災地への災害救助隊派遣に伴う消防隊員40名に対する派遣前及び派遣後の健康診断の実施 ・被災地に遺体の検死を行うために医師4名を派遣 ・被災地に被災者の診療を行うために医師等68名を派遣 ・被災地からの患者の受入れ URL:http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/education/info20110317.html
近畿	大阪大学	【医学部附属病院】 ○緊急医療チーム（DMAT）を派遣（3月12日～15日） ○ドクターヘリチームを福島県立医科大学に派遣（3月12日～15日） ○放射線測定のため医師、看護師、放射線技師を派遣（3月15日～16日） ○東北大学の派遣要請に基づき医療支援チームを編成したが、現地支援ニーズの状況変化により派遣を取り止めた。 ○今後の医師等の派遣要請に備え、被災地の現状把握を目的に福島県立医科大学へ事前調査（4月13日～15日）チームの派遣を計画したが、余震の（震度6）の影響から派遣を延期した。 ○日本医師会から大阪府医師会を通じ活動しているJ-MATに薬剤師を派遣（4月20日～24日） ○近畿ブロック4大学（阪大、京大、滋賀医科大、福井大）リレー方式による医療支援チームの派遣（阪大：5/26～5/31、6/11～6/16、6/27～7/2、7/13～7/18） ○岩手県立宮古病院に内科系医師2名を派遣（10/16～10/29） ○文部科学省からの協力依頼に基づき、東京電力福島第一原子力発電所に開設の救急医務室へ看護師1名を派遣（11/18～11/19、12/24～12/25） 【歯学研究科・歯学部附属病院】 ○東北大学歯学部からの要請に基づき、歯ブラシ、紙コップ、ゴム手袋等を支援物資として提供（3月25日、3月29日） ○日本歯科医師会からの要請に基づき、ご遺体の身元確認のための歯科医師の派遣について、派遣要員として歯科医師3名を登録（平成23年4月末現在、派遣要請なし） ○日本歯科医師会からの要請に基づき、被災地における歯科診療のための歯科医療従事者の派遣について、派遣要員として歯科医師6名を登録（平成23年4月末現在、派遣要請なし） ○大阪府健康医療部からの要請に基づき、被災地への医療従事者の派遣協力について、看護師1名を派遣予定（5月26日～5月31日） 【連合小児発達学研究所】 ○「子どもの心のケア」支援チーム（厚生労働省からの要請）参加者の募集（学内関係部局へ）
近畿	大阪教育大学	○文部科学省「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」において、大学教員9人（医師4人 臨床心理士5人）の派遣を提案している。 URL:http://manabishien.mext.go.jp/

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
近畿	兵庫教育大学	<ul style="list-style-type: none"> ・教育大学の特色ある支援活動の在り方として、本学富永良喜教授を中心に臨床心理士チームを定期的に派遣し、現地の専門家との連携により被災者の心のケアにあたった。臨床心理士の資格を有している本学教員及び修士が、岩手県教育委員会の「スクールカウンセラーの緊急派遣事業」に参画し、5/9～6/19の6週間に3チームを編成（各チームとも1週間単位で交代して現地に派遣）し、岩手県大船渡市の学校等でセルフケアの伝達・教職員のサポート等支援活動を行った。 ・なお、派遣事業終了後も、派遣チームと派遣先学校及び大船渡市教育委員会との間にメールによるネットワークを構築し、現地の教員からの相談に応じることができる体制を整備している。
近畿	神戸大学	<ul style="list-style-type: none"> ○東北大学病院の要請を受け、看護師2名、事務職1名を派遣（3/14～3/16） ○救急医療チーム（DMAT）を2チーム派遣（3/12） ○兵庫県こころのケアチームとして、本院の医師3名、看護師2名、臨床心理士1名が参画（3/18～3/25、3/30～4/6、5/1～5/8、5/29～6/5） ○小児科学会を通じて、東北大学からの医師の派遣支援依頼に応じ、医師4名を気仙沼市立病院に派遣（3/29～4/5、4/5～4/12、4/12～4/19、4/19～4/26） ○兵庫県薬剤師会からの要請に応じ、薬剤師によるボランティア活動に石巻市に薬剤師1名を派遣（4/7～4/10） ○兵庫県からの要請に応じ、宮城県へ医師・看護師・薬剤師等で構成された1チーム5名程度の救護班を7チーム派遣（4/8～12、4/12～16、4/16～20、5/14～5/18、5/18～5/22、5/22～5/26、6/10～6/14） ○産科婦人科学会からの派遣支援依頼に応じ、石巻地区へ医師2名を派遣（4/9～4/15） ○岩手県からの要請に応じ、岩手県立宮古病院に向けて、医師4名を派遣（11/13～11/19、11/20～11/26） ○医薬品を東北大学病院に提供（3/14）。 http://www.kobe-u.ac.jp/info/topics/t2011_03_earthquake_med.html ○原子力発電所周辺住民への被ばくスクリーニングの実施に対し、職員を派遣
近畿	奈良教育大学	<ul style="list-style-type: none"> ○奈良県心のケアチームの一員として教員1名が参加。現地スタッフ（気仙沼保健所）と相談のもと、避難所、仮設住宅の訪問、診察（投薬含む）、カウンセリング、幼稚園巡回相談、心のケア講演活動（計3回）を行った（9月26日～9月29日）。 ○奈良県心のケアチームの一員として教員1名が参加。奈良県職員、精神科ソーシャルワーカー、看護師と共に活動を行った。現地スタッフと相談のうえ、避難所・仮設住宅を毎日数箇所訪問し、診察（投薬を含む）、カウンセリング、中学校、小学校の巡回相談を行った（7月11日～15日）。
近畿	奈良女子大学	<p>文部科学省EOC医療班からの要請により、住民の一時帰宅に伴うスクリーニングの実施に係る放射線測定の実験家（教員6名）を福島県に派遣した。（8月末まで派遣回数12回、作業日数は延べ19日）、（8月末まで実施）</p>
近畿	奈良先端科学技術大学院大学	<p>○放射線汚染検査機材（サーベイメータ）を貸与（3月24日～）</p>
中国・四国	鳥取大学	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急医療チーム(DMAT)を、3隊派遣(3月13日～15日)、(3月16日～20日) ○医療救護班として、医師24名、看護師18名、薬剤師9名、事務職9名を、派遣(3月17日～5月7日) ○災害医療アドバイザーとして、原子力災害現地対策本部（福島市）に医師1名を派遣（4月27日～4月30日） ○Jビレッジでの医療チームの総括及び現地対策本部での指導・助言のため、医師1名を派遣（5月24日～5月28日） ○緊急被ばくスクリーニング実施のため職員を派遣・計5回(6月13日～8月11日) ○みやぎ心のケアセンターと連携した被災地のメンタルヘルスケア支援（2月末までに精神科医師4名を派遣、平成23年度国立大学協会 震災復興・日本再生支援事業） URL http://www.tottori-u.ac.jp/dd.aspx?itemid=6699#itemid6699

【1. 医療支援】

支部分名	大学名	活 動 実 績
中国・ 四国	島根大学	<p>○厚生労働省の要請を受け、本学DMAT（災害派遣医療チーム）を派遣（3月12日～14日）</p> <p>○宮城県警の要請を受け、検案及び身元確認のため法医学講座教授を派遣（3月23日～31日）</p> <p>○福島県警の要請を受け、検案及び身元確認のため法医学講座教授を派遣（4月20日～27日）</p> <p>○宮城県警の要請を受け、検案及び身元確認のため法医学講座教授を派遣（5月31日～6月8日）</p> <p>○厚生労働省の要請を受け、福島県に放射線身体汚染検査等のため救急医学講座教授を派遣（4月9日～14日）（5月24日～30日）（7月2日～4日）（8月21日～24日）（11月20日～23日）（1月15日～18日）（2月12日～15日）</p> <p>○厚生労働省の要請を受け、福島県に放射線身体汚染検査等のため救急医学講座准教授を派遣（7月7日～9日）（12月11日～14日）（1月29日～2月1日）（2月26日～29日）</p> <p>○島根県の要請を受け、本学DMATを含む医療救護班を派遣（4月14日～17日、20日～23日、26日～29日）</p> <p>○日本栄養士会の要請を受け、宮城県に栄養相談、栄養支援活動のため臨床栄養部栄養士1名を派遣（5月16日～18日）</p> <p>○文部科学省の要請を受け、福島県に放射能警戒区域内への住民一時帰宅に伴う緊急被ばくスクリーニング実施のため放射線技師等を派遣（5月25日～28日、5月28日～31日、6月7日～9日、6月18日～19日、6月21日～22日、6月28日～29日、7月6日～8日）</p> <p>○厚生労働省の要請を受け、福島第一原子力発電所内の現場作業者等の放射線サーベイ実施のため医学部放射線医学講座教務職員を派遣（9月5日）</p> <p>○厚生労働省の要請を受け、福島県に放射線身体汚染検査等のため救急部助教を派遣（12月25日～28日）</p> <p>○福島県の要請により、医療支援のため医学部附属病院神経内科助教を福島県いわき市立総合磐城共立病院に派遣（1月15日～28日）</p>
中国・ 四国	岡山大学	<p>岩手県の要請により、医師、歯科医師等を、順次第1班から第12班までに分け、総計73名を派遣し、同県遠野市で医療支援活動を実施した。（全派遣期間：平成23年3月から4月21日）</p> <p>その後も、文部科学省や地方自治体、各種学会等の要請に応じ、医師、コ・メディカル等（延べ23名）を被災地に派遣し、診療活動、死体検案、心のケア、環境放射線調査、放射線スクリーニング等の支援活動を行ったほか、日本産婦人科学会の要請に基づき、分娩・帝王切開のための医療材料等を提供した。</p>
中国・ 四国	広島大学	<p>○緊急医療チーム(DMAT)を派遣(3月11日～15日)</p> <p>○緊急被ばく医療チーム(医師、放射線技師、看護師等)を派遣(3月12日～現在も派遣中)</p> <p>①福島県オフサイトセンター(緊急事態応急対策拠点施設)、Jビレッジ(救急搬送連携拠点：第2トリアージポイント)や初期スクリーニング拠点において患者のヘリ搬送、診断、除染を実施(3月28日～4月28日)</p> <p>②患者搬送ルートの概要決定(放射線医学総合研究所と協議)</p> <p>③汚染をスクリーニングする体制整備、スクリーニング法の指導並びに多数の市民及び小児甲状腺のスクリーニング実施 → 住民の不安軽減や「安心・安全」を提供</p> <p>④福島県立医科大学の医師、看護師等に対する緊急被ばく医療セミナー実施 → 医療従事者が安心して被ばく患者を受け入れられる環境を整備</p> <p>⑤現地にワゴン車2台投入による緊急被ばく医療活動の機動力確保(3月12日及び15日出発～10月7日)</p> <p>⑥緊急被ばく医療活動を支援する備品や食品、水等(車1台分)を寄付(3月12日出発)</p> <p>⑦派遣チームの後方支援員として、現地で契約専門職員1人を採用(4月18日～9月末日)</p> <p>⑧福島県立医大で実施したホールボディカウンターによる健診及び検診のサポート ・内部被ばく特別健診、274人(5月16日～8月31日) ・慢性内部被ばく検診、約150人(12月5日～16日)</p> <p>○緊急被ばく医療チームは5月20日から一時帰宅に伴うスクリーニングにも対応。また、7月から福島第1原発内へ設置の「救急医務室」(本学は、事務局として、放射線医学総合研究所と連携、全国の国立大学などの協力を得て、医師や看護師、放射線管理の専門家の派遣計画の策定などを担う)への救急医派遣も実施(2月末までの延べ派遣人数、計1,215人)</p> <p>http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html</p> <p>○HICARE放射線量測定チーム(広島県)スクリーニング検査へ技術員を派遣(3月16日～22日)</p> <p>○広島医療チームとして6人(医師、看護師等)を派遣(4月24日～30日)</p> <p>○全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会の依頼により、岩手県陸前高田市(県立高田病院)へ整形外科医(クリニカル・スタッフ(大学院生))を出向派遣(10月31日～11月11日)</p> <p>○全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会の依頼により、福島県いわき市立病院へ神経科医(医科診療医)を出向派遣予定(3月19日～30日)</p>

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
中国・四国	山口大学	<p>ODMATチーム(5人)を派遣(3月12日~15日, いわて花巻空港)</p> <p>○ドクターヘリ(2人)によるDMAT派遣(3月12日~15日, 福島県立医科大学を拠点に、主に宮城県において活動)</p> <p>○福島県警察本部の要請により、災害時死体検案のため法医学教員を2名派遣(3月14日~3月22日)</p> <p>○山口県薬剤師会(日本薬剤師協会)の要請により、薬剤師1名を派遣(3月22日~3月27日, 気仙沼市立病院(宮城県))</p> <p>○山口県放射線技師会の要請により、避難所における放射線測定のため放射線技師1名を派遣(4月6日~4月10日, 福島県内)</p> <p>○地域医療研修の一環として、研修医1名を研修先病院のチームに参加(4月18日~4月22日, 宮城県塩竈市・松島市内避難所)</p> <p>○岩手県、岩手医科大学及び精神医学講座担当者会議の要請により、山口県立こころの医療センターと連携し、本院から延べ精神科医10名、看護師6名、事務職員2名を派遣(4月29日~7月3日, 岩手県釜石市内の避難所等)</p> <p>○日本歯科医師会・日本歯科衛生士会からの要請により、避難所での口腔ケアのため歯科衛生士1名を派遣(5月15日~5月22日, 岩手県大槌町・山田町)</p> <p>○宮城県警・日本歯科医師会からの要請により、ご遺体身元確認作業のため歯科医師2名を派遣(5月23日~5月29日, 宮城県)</p> <p>○病院戦略会議を災害対策本部とし、重症患者の受け入れや医療支援活動等を計画している。</p> <p>○東電福島第一原発医療体制ネットワーク事務局(広島大学)からの要請により、東京電力福島第一原子力発電所5/6号救急医療室に看護師3名を派遣(12月18日・19日, 1月23日・24日, 1月31日・2月1日 各1名), 3月23日・24日に1名派遣予定</p> <p>○国立大学附属病院長会議の医師長期派遣基本方針により、医師2名を派遣(岩手県立高田病院: 1月30日~2月7日, いわき市立総合警城共立病院: 2月6日~2月17日 各1名) 3月5日~3月16日に1名派遣予定</p> <p>○岩手県医療局医師支援推進室からの要請により、医師1名を派遣(岩手県立大船渡病院: 2月5日~2月11日)</p>
中国・四国	徳島大学	<p>○東北大学病院の要請により医療チーム8人を派遣(3月17日~21日)</p> <p>○徳島県の医療救護班に医療チーム1班につき3~6人の医師、薬剤師、看護師、事務職員等を派遣(3月25日~29日, 3月28日~4月1日, 3月31日~4月4日, 4月3日~7日, 4月6日~10日, 4月9日~14日, 4月12日~16日, 4月15日~19日, 4月18日~22日, 4月21日~25日, 4月24日~28日, 4月27日~5月1日, 4月30日~5月4日, 5月3日~7日, 5月6日~10日, 5月9日~13日, 5月12日~16日, 5月21日~25日, 5月30日~6月3日)(徳島県の医療救護班の派遣は、6月3日をもって一旦終了)</p> <p>○徳島県の心のケアチームに医師、心理士の5班11人を派遣(3月25日~29日, 3月31日~4月4日, 4月9日~13日, 4月15日~19日, 4月24日~28日)(徳島県の心のケアチームの派遣は4月一杯で終了)</p> <p>○福島県における被災者サーベイランスに歯科医師等2人を派遣(4月5日~14日, 4月26日~5月1日)</p> <p>○福島県の放射線調査に講師を派遣(3月29日~31日, 4月6日~14日, 4月26日~5月1日) ○避難住民一時帰宅支援スクリーニング活動に講師を派遣(文部科学省委託: 5月24日~27日, 6月18日, 7月30日~8月1日, 8月11日~12日)</p> <p>○全国医学部長・病院長会議被災地医療支援委員会の活動として、岩手県立高田病院に整形外科の医師を1名派遣(11月28日~12月9日)、いわき市立総合警城共立病院に神経内科の医師を1名派遣(1月30日~2月4日)</p>
中国・四国	香川大学	<p>○災害派遣医療チーム(DMAT)を福島県に派遣(3月11日~3月13日)</p> <p>○救護班を宮城県に派遣(3月21日~3月24日, 3月25日~3月28日, 4月8日~4月11日, 4月28日~5月1日)</p> <p>○放射線技師をサーベヤーとして福島県に派遣(3月15日~3月21日)</p> <p>○放射線スクリーニング検査支援として、放射線同位元素実験部門教務職員を福島県に派遣(5月24~5月28, 6月5日~6月10日, 7月21~7月26日)</p> <p>○医師を検死支援として岩手県に派遣(3月20日~3月27日)</p> <p>○歯・顎・口腔外科医師2名が、岩手県において、歯科検察活動支援を実施(5月7日~5月11日)</p> <p>○非常勤教員を遠隔医療ネットワークインフラ構築のための調査員として岩手県に派遣(4月20日~4月24日)</p> <p>○全国医学部長病院長会議において、被災地の要請に基づき、被災地医療支援を実施することが決定し、「中国・四国地区」の大学病院は、岩手県からの要請により、まず、岩手県立高田病院(仮設診療所)に整形外科の医師を10月から3月の半年間、各大学病院で期間を割り振り、医師派遣を実施することとし、本院からは、整形外科医員1名を派遣(11月14日~11月18日)</p> <p>○一般社団法人国立大学協会における「震災復興・日本再生支援事業」に、本学の「遠隔医療技術を用いた震災地域の医療再生プロジェクト」が採択された。</p> <p>URL:http://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/320/</p>

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
中国・四国	愛媛大学	<p>○緊急医療チーム(DMAT)を派遣した。(3月11日～14日)</p> <p>○放射線医学総合研究所において支援活動を実施した。(3月15日～3月17日)</p> <p>○被災地の病院、診療所、医療救護所、避難所等において医療救護支援を実施した。(4月4日～4月10日、4月9日～4月17日、4月23日～5月1日、4月30日～5月8日)</p> <p>○愛媛県の医療救護班として支援を実施した。(6月13日～6月18日、6月17日～22日、6月25日～30日)</p> <p>○福島原発警戒区域一時帰宅者に対する被ばくスクリーニングに係る応援派遣をした。(4回)</p> <p>○医学系研究科 谷川 武教授が、福島第一・第二原子力発電所作業員に対する健康管理支援を実施した。(4月16日～19日、5月6日～9日、6月28日～7月1日、7月22日～25日、9月19日～21日、11月28日～30日、12月19日～21日、2012年2月19日～21日)</p> <p>○全国医学部長病院長会議被災地支援の被災地医療支援医師として岩手県立高田病院に医師を派遣した。(1月15日～28日、2月7日～23日)</p>
中国・四国	高知大学	<p>○緊急医療チーム(DMAT)を派遣(3月11日～3月14日)</p> <p>○医療支援チーム(医師・看護師・コメディカル・事務3～6名)を10班(総勢44名)を派遣(3月19日～4月28日)：東北大学病院の依頼に基づき、石巻赤十字病院の統轄下で支援活動を行った。</p> <p>○医薬品を石巻赤十字病院に(上記医療支援チーム10班を派遣時)提供(3月19日～4月28日)</p> <p>URL http://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/news1/saigaihaken.htm</p> <p>○自治医科大学医学部同窓会の派遣要請を受け、家庭医療学講座の医師が支援を行う。(4月2日～4月10日)</p> <p>○心のケア、東北大学から診療支援チーム員の募集を受け、神経精神科の医師及び看護師が支援を行う。(3月27日～3月31日、4月8日～4月13日)</p> <p>○心のケア、岩手県からの要請を受け高知県地域福祉部が高知県内精神科病院等と連携し、岩手県宮古市・山田町への「心のケアチーム」派遣し支援を行う。(5月19日～5月23日、6月6日～6月10日、6月9日～6月15日、6月19日～6月26日、6月25日～7月1日、7月18日～7月21日、7月27日～8月3日)</p> <p>http://www.kochi-ms.ac.jp/~hsptl/news1/saigaihaken-2.htm</p> <p>○現地の県警察本部から日本法医学会理事長宛の派遣要請を受け、法医学の医師が死体検案支援を行う。(3月24日～3月31日、4月8日～4月15日、5月25日～6月1日)</p> <p>○石巻市のヤンマー診療所、渡波小学校などの避難所での診療支援を行う。(5月2日～5月5日)</p> <p>○福島県にスクリーニングの実施に係る診療放射線技師の派遣を行う。(6月5日～6月10日、6月14日～6月17日、6月30日～7月3日、7月5日～7月10日、7月13日～7月18日、8月7日～8月10日)</p> <p>○東京電力福島第一原子力発電所の作業員に対する医療及び健康管理に従事する看護師の派遣を行う。(11月9日～11月12日、11月11日～11月14日、12月1日～12月4日、1月4日～1月7日、1月20日～1月23日、1月26日～1月29日、1月28日～1月31日)</p>

【1. 医療支援】

支部分名	大学名	活動実績
九州	九州大学	<p>○災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 3月12～14日（宮城県霞目駐屯地）、3月12～13日（航空自衛隊春日基地板付地区（福岡））</p> <p>○医師の派遣 ・救護活動（日本医師会災害医療チーム）のため医師を福島県いわき市に派遣（3月13日～15日）。 ・警察庁からの要請を受けて、助教1名が福島県福島市で（3/16～21）、宮城県の各所で（3/22～24）、教授1名が宮城県の各所で（3/20～3/26）、福島県相馬市で（4/15～4/20）、それぞれ活動。 ・4月4日から5日間、福島県立医科大学及び厚生労働省より、福島県内で避難所生活中の精神疾患患者に対する医療支援の依頼があり、精神科神経科医師3名を派遣。 ・福島県立医科大学の支援チームの指揮下での、福島いわき市の避難所等における心のケアに係る医療支援のため医師2名、看護師1名を派遣（4月18日～22日の5日間）。 2回目：4月18日～22日の5日間、福島県いわき市へ医師2名、看護師1名を派遣。 3回目：5月16日～20日の5日間、福島県いわき市へ医師1名、看護師1名を派遣。 4回目：7月4日～8日の5日間、福島県いわき市へ医師1名、看護師1名を派遣。 5回目：8月1日～5日の5日間、福島県いわき市へ医師1名、看護師1名を派遣。 6回目：9月5日～9日の5日間、福島県いわき市へ医師1名、看護師1名を派遣。 7回目：10月3日～7日の5日間、福島県いわき市へ医師1名、看護師1名を派遣。 8回目：11月7日～11日の5日間、福島県いわき市へ医師1名、臨床心理士1名を派遣。 9回目：12月5日～9日の5日間、福島県いわき市へ医師2名、看護師1名を派遣。 ・4月30日～5月7日の8日間、日本産科婦人科学会からの要請に従い、産婦人科の講師1名、助教1名が宮城県石巻市赤病院産婦人科において医療支援活動を実施。 ・4月13日～16日までの4日間、および6月1日～2日の2日間、日本医師会からの要請に従い、九州大学病院救命救急センターの医師（特別教員）1名が、福島県相馬郡新地町の新地町役場仮設診療所及び町内避難所において医療支援活動を実施。・5月21日～24日までの4日間、日本医師会からの要請に従い、九州大学病院救命救急センターのセンター長、同センター医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務職員1名の計7名が、福島県相馬郡新地町の新地町役場仮設診療所及び町内避難所において医療支援活動を実施。 ・6月6日～8日、6月20日～22日、7月11日～13日、8月22日～24日の各3日間、日本心身医学会からの要請に従い、九州大学病院心療内科医師が各日程1名ずつ、宮城県気仙沼市内において震災後ストレス外来診療を実施。 ・6月29日～7月1日の3日間、福島県立医科大学及び日本医学放射線学会からの要請に従い、同大学の「緊急被ばく医療班」への支援のため、教授1名を派遣。 ・7月3日～9日の7日間、岩手医科大学、岩手県医師会より、被災者支援及び妊産婦ケアに関する研修指導について依頼があり、九州大学病院子どものこころの診療部特任教授を派遣。 ・日本医師会の要請に従い、福島県福島市の子羊保育園において米国の放射線防護の専門家による除染活動の立ち会いのために、九州大学病院救命救急センターの医師1名を8月3日に派遣 ・日本医師会の要請に従い、同会の「福島県原子力災害からの復興に関するプロジェクト委員会」の調査および支援活動として、8月10日に東京、9月22日および12月23日に福島県福島市へ九州大学病院救命救急センターの医師（特別教員）1名を派遣。 ・9月4日～17日の2週間、全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会の医療支援活動として、消化管内科の医師2名を1週間交替で、福島県南相馬市立総合病院消化器内科へ派遣。 ・10月16日～29日の2週間、全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会の医療支援活動として、神経内科の医師1名を福島県いわき市立総合磐城共立病院へ派遣。・10月29日～30日の2日間、岩手県医師会より、「こどものこころのケア」に係る講習指導及び診療の実技に係る指導について依頼があり、子どものこころの診療部特任教授を派遣。 ・12月16日～18日の2日間、岩手県医師会及び岩手医科大学から、「こどものこころのケア」に係る医療支援について依頼があり、子どものこころの診療部特任教授を派遣。 ・東京電力の要請に従い、日本救急医学会を通じて九州大学病院救命救急センターの医師1名を福島第1原子力発電所56号機救急室の支援活動に以下の日程で派遣。 11月30日～12月1日、12月22日～23日、2月10日～11日 ・全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会から、茨城県への医師派遣要請があり、九州地区において平成24年1月から3月末の間、北茨城市立総合病院の内科を支援することとなり、3月11日～24日の2週間、肝臓・膵臓・胆道内科の医師1名を派遣予定。</p> <p>○歯科医師の派遣 ・宮城県歯科医師会からの要請により、歯科医療派遣チーム（歯科医師1名、歯科衛生士2名）を派遣。同県被災地において歯科医療活動を実施。（7月10日～18日）</p> <p>○メンタルヘルスケア ・健康科学センター及び学生生活・修学相談室が、本学関係者のうち被災された方などを対象としたメンタルヘルスケアを実施中。 ・人間環境学府附属総合臨床心理センターが、被災者に対するこころのケアのための「ほっとひろば 九大」を開設。</p>

【1. 医療支援】

支部分名	大学名	活動実績
九州	佐賀大学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害派遣医療チーム (DMAT) を派遣 (3月12日~14日) ○ 千葉県放射線医学総合研究所に医師を派遣 (3月17日~18日) ○ 医薬品・医療材料の提供と医療救護班 (第1班) を派遣 (宮城県) (3月20日~26日) ○ 医療救護班 (第2班) を派遣 (宮城県) (3月25日~31日) ○ 医師等 (心のケアチーム) を派遣 (宮城県) (4月4日~10日) ○ 岩手県大船渡病院に医師を派遣 (4月16日~24日) ○ 医師をJビレッジ (福島県双葉郡) に派遣 (4月18日~21日) ○ 福島県いわき市総合磐城共立病院に医師と看護師を派遣 (5月1日~7日) ○ 宮城県石巻市に医師を派遣 (避難所で医療活動) (5月22日~29日) ○ 医師をJビレッジ (福島県双葉郡) に派遣 (5月29日~6月1日) ○ 医師をJビレッジ (福島県双葉郡) に派遣 (6月4日~6月7日) ○ 医師をJビレッジ (福島県双葉郡) に派遣 (7月28日~7月31日) ○ リハビリテーション工学分野支援のため教員を宮城県名取市に派遣 (8月9日~8月12日) ○ 医師をJビレッジ (福島県双葉郡) に派遣 (8月12日~8月15日) ○ 福島県南相馬市立病院に医師を派遣 (10月2日~9日, 10月10日~15日) に各1名) ○ 医師をJビレッジ (福島県双葉郡) に派遣 (11月6日~11月9日)
九州	長崎大学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急医療チーム (DMAT) で5名派遣 (医師, 看護師, 理学療法士) (3月14日~16日) ○ 岩手県遠野市を拠点として釜石市, 大槌町での医療活動等に延べ18名 (医師, カウンセラー, 薬剤師, 看護師, 事務職員) を派遣 (3月15日~29日) ○ 南三陸町での医療活動に医師1名を派遣 (3月14日~21日) ○ 宮城県感染症対策室の支援としての医療活動に医師延べ4名を派遣 (3月28日~現在) ○ 被災者医療支援として調剤, 薬剤管理のための活動に教員1名を派遣 (4月2日~13日) ○ 福島県の放射線健康リスクアドバイザーとして2名の教員が活動 (4月1日~現在) ○ 福島県における緊急ひばく者医療活動に延べ75名程度 (医師, 看護師放射線技師, アイソトープ専門家, 教員) 派遣 (3月13日~現在) ○ 福島第1原発から20~30km圏内の在宅診療活動及び避難所医療支援活動に延べ35名を派遣 (医師, 歯科医師, 看護師, 薬剤師, 事務職) (4月3日~現在)
九州	熊本大学	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食料品, 医薬品, 医療材料, 燃料等を東北大学病院へ輸送した。 (平成23年3月19日) ○ 災害医療支援チーム (第1次~第8次) を宮城県石巻赤十字病院へ派遣した。 (平成23年3月18日~4月13日) ○ http://www.kuh.kumamoto-u.ac.jp/etc/topics/topi_230322.html#tohoku_sab_link ○ 神経精神科医を熊本県の災害派遣保健医療チーム (第1次~第10次) の一員として宮城県南三陸町等へ派遣した。 (平成23年3月21日~5月21日) ○ 神経精神科医を熊本県こころのケアチームの一員として宮城県登米市へ派遣した。 (平成23年9月6日~8日) ○ 日本産科婦人科学会の要請を受け, 産婦人科医を石巻赤十字病院へ派遣した。 (平成23年9月10日~17日) ○ 全国医学部長病院長会議が主体となっていく医療支援に内科医を派遣した。 (平成23年9月19日~10月1日, 平成24年2月5日~18日, 2月16日~3月3日) ○ 全日本民医連が派遣するこころのケアチームに教員 (1名) が精神看護専門看護師として参加し, 宮城県多賀城市の被災所4カ所において支援を行った。 (平成23年4月9日~15日) ○ 日本精神保健看護学会が国際基督教大学, 宮城学院女子大学と連携して実施する災害支援プロジェクトに本学教員 (精神看護専門看護師) が参画し, 復興支援にあたる看護師・保健師の抑うつ予防プログラムとして相談・心理的支援事業を実施している。 (平成23年9月~平成24年3月31日)
九州	大分大学	<p>3月12日に本学医学部医師らが所属する大分DMATが, 仙台入りし, 13日午後まで現地で医療活動を展開した。 (3月13日まで実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手医科大学との連携による医療支援のため, 4月から6月にかけて延べ6名の医師を岩手県に派遣した。 (6月4日まで実施) ・ 日本薬剤師会からの要請により, 4月11日~16日に薬剤師1名を宮城県に派遣した。 ・ 放射線測定のため, 5月から延べ11名の医師・技師を福島県へ派遣した。 (7月27日まで実施) ・ 被災地の医療機関からの支援要請を受け, 平成24年1月から小児科医2名を派遣し, 消化器内科医1名を派遣中である。

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
九州	宮崎大学	<ul style="list-style-type: none"> ○日本赤十字社宮崎県支部から派遣要請（6月下旬まで実施） 医師、看護師、薬剤師、事務職の延べ31名を派遣（3月18日～6月10日） ○日本看護協会（宮崎県看護協会）から派遣要請 看護師1名を派遣（3月27日～4月2日） ○日本医師会から派遣要請 医師1名、技能補佐員2名を派遣（4月23日～28日） ○文部科学省から放射線測定派遣要請 教員、放射線技師、技術専門職員、技術職員の延べ12名を派遣（5月24日～8月27日） ○宮崎県から心のケアに係る派遣要請 医師、看護師、ソーシャルワーカーの延べ11名を派遣（5月1日～10月23日） ○日本臨床心理士会から心のケア支援の派遣要請 教員の延べ11名を派遣（5月9日～11月30日） ○日本産科婦人科学会から派遣要請 医師2名を派遣（8月31日～9月4日） ○全国医学部長病院長会議（九州地区）被災地医療支援に係る派遣 医師1名を派遣（2月5日～2月11日） ○緊急支援物資として、医療材料（医療用ガウン840枚、医療用手袋18,000組、包帯3巻、除菌用ウェットティッシュ1,010ケースなど）を提供（3月21日）
九州	鹿児島大学	<ul style="list-style-type: none"> ○3月12日から本院 DMAT（災害派遣医療チーム）は出動準備を整え待機していたが、鹿児島県からの出動要請はだされなかったため翌週待機を解除した。 ○宮城県→文部科学省→鹿児島大学へ要請があり、3月25日 石巻赤十字病院へ向け附属病院医師等（内科系1名、外科系1名、精神科1名、看護師2名、事務2名）計7名の医療支援チームが出発、第3班から薬剤師1名が加わり計8名のチームを3日おきに12チーム（派遣者総数94名）派遣（3月25日～5月1日） URL:http://www.kagoshima-u.ac.jp/topics/2011/03/post-63.html ○ 医歯学総合研究科法医学分野教員に対する検案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県において死体の検案活動1名（3月16日～3月25日） ・ 岩手県において死体の検案活動1名（4月19日～4月26日） ○ 歯科医師派遣の要請 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月16日 日本歯科医学会会長の要請を受け被災者身元確認作業に附属病院から歯科医師7名を推薦し、待機した。（派遣要請は出されなかった。） ○ 学会等からの要請による派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本小児救急医学会より派遣要請があり、本学附属病院小児外科医員1名を陸前高田市へ医療支援として派遣（4月15日～4月19日） ・ 福島県→厚生労働省→鹿児島県の要請を受け、本院精神科医師計8名を「こころのケアチーム」として派遣 派遣先：宮城県 女川町 派遣期間：5月6日～9月30日（5月～6月：1名1週間の派遣、7月～9月：1名4日間の派遣） ・ 心身医療科医師派遣 日本心身医学会からの要請により宮城県気仙沼市に医師1名を8月1日～8月3日まで派遣し、被災者の診察を行った。 ○ 福島県への遺体検案前の放射線サーベイ要員の派遣 福島県警→日本放射線技師会→鹿児島大学への要請があり、本院放射線技師1名を福島県相馬市及び南相馬市へ派遣（5月4日～5月10日） ○ 福島原発「緊急被ばく医療対策班」いつでも出動できる準備はできており文部科学省の派遣要請待ち（3月15日文部科学省から福島県への出動要請が出されたが出発直前に待機命令が出され、その後待機は解除された。） ○ 被ばく疑いの一般市民に対するスクリーニング実施（3名） 3月16日、本院の具体的対応について協議し「福島原発の放射能漏れ事故に対する本院の対応」を作成、3月17日病院敷地内にトリアージ Tent を設置した。福島県からの被ばく疑いの市民3名に対しスクリーニングを実施した。 ○ 歯科医療支援チーム派遣 被災県知事→厚生労働省→日本歯科医師会→鹿児島大学への派遣要請で宮城県南三陸町に歯科医師1名、歯科衛生士1名を派遣（7月17日～7月23日）し避難所での医療支援活動、主に口腔衛生指導を行った。 ○ 東京電力福島第一原子力発電所5/6 救急医療室への看護師派遣 厚生労働省から文部科学省に要請があり、本院緊急被ばく医療対策班メンバーの男性看護師1名を、福島第一原子力発電所5/6 救急医療室に派遣（9月25日～9月28日） し、現場の作業者に対する救急医療、健康管理、診療環境整備等に従事 男性看護師2名を同医療室へ派遣予定（3月29日～3月31日 1名、 3月31日～4月1日 1名） ○ 全国医学部長・病院長会議からの要請による福島県への医師派遣 福島県南相馬市立総合病院消化器内科へ医師2名を派遣した。 （11月20日～11月26日 1名、11月27日～12月3日 1名）

【1. 医療支援】

支部名	大学名	活 動 実 績
九州	琉球大学	<p>○医療チームを岩手県へ派遣（3月15日～3月22日） http://www.u-ryukyu.ac.jp/info/support_for_earthquake2011031501/</p> <p>○検死のため、教員を福島県、宮城県へ派遣（3月15日～22日、4月17日～24日） 検案のため、医師3名を福島県（3月15日～22日）、宮城県（4月5日～11日）、岩手県（4月7日～13日）、宮城県（4月17日～24日）へ派遣</p> <p>○薬剤師ボランティアを仙台市へ派遣（3月25日～4月1日）</p> <p>○岩手医科大学へ医薬品を提供（3月22日）</p> <p>○医師 1名を岩手県へ派遣（4月28日～5月5日）</p> <p>○心のケアとして、医師2名を岩手県へ派遣（5月5日～12日）</p> <p>○医師1名を岩手県へ派遣（5月10日～16日）</p> <p>○医師1名を岩手県へ派遣（7月10日～17日）</p> <p>○医学部附属病院教員1名が宮城県にて検案を行った。（平成23年6月25日～7月1日）</p> <p>○医師1名を福島県へ派遣（平成24年1月9日～21日）</p>